京都中小企業情報セキュリティ支援ネットワーク

Ｋｓｉｓｎｅｔだより

平成２８年
６月２０日
Ｖｏｌ．１５

発行：京都中小企業情報セキュリティ支援ネットワーク（Ksisnet）事務局

標的型メールの危険性を認識して下さい！

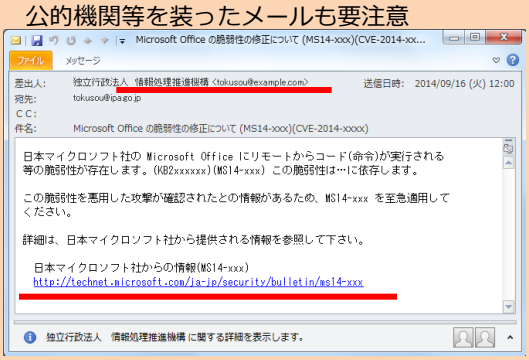
日本国内の大手旅行会社が標的型メール攻撃を受け、約790万人分の顧客個人情報（住所、氏名、パスポート番号等）が流出したという事件が大きく報道されました。

感染原因は、同社従業員が取引先を装って送られたメールに添付されたファイルを開いたことによるものと発表されています。

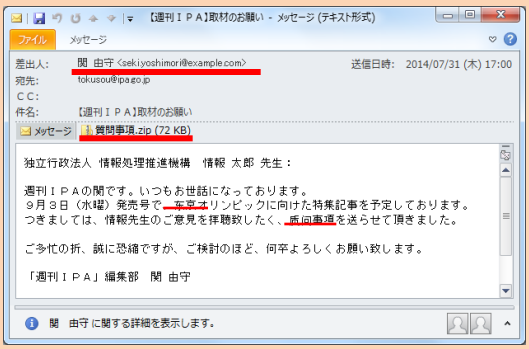
最近では、犯罪者が対象者と複数回メールをやりとりし、取引先であると信用させる手口が使われています。今一度、標的型メールの危険性を認識して下さい!!

【不正プログラム感染の例】

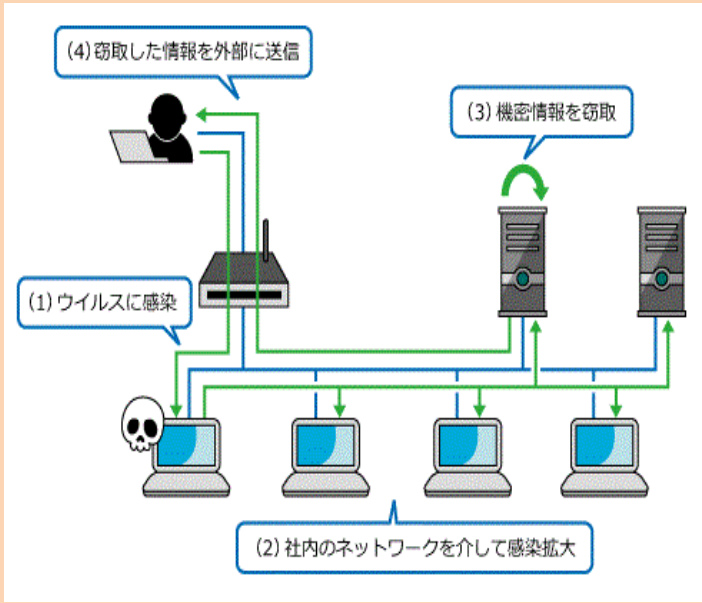
※　公的機関等を装ったメールも要注意



※　取引先等からのメールでも内容をしっかり確認



URLへのアクセスや添付ファイルを開くことで感染
(1)～(4)は、感染から情報流出までのルートを例示



＊上記画像は、IPAから引用

～被害防止の留意事項～

◎　不審なメールは開かず、送信者、添付されたファイル（拡張子が「.zip」「.exe」など）、添付されたURL、文面を確認してください!!

◎　不審なメールを発見すれば、直ちに社員等に周知することが重要です。

◎　ウイルス対策ソフトやソフトウェアを最新の状態に更新してください!!
更新されていなければ、効果はありません。

京都中小企業情報セキュリティ支援ネットワーク（Ksisnet）

お困りの時は!!

ＩＴ相談窓口（公益財団法人京都産業２１ お客様相談室）

相談内容：情報セキュリティ対策、情報漏えい・流出事案等
※毎週月曜日～金曜日の９：００～１７：００（祝日を除く）

TEL　075-315-8660　メールアドレス　okyaku@ki21.jp

公益財団法人京都産業２１ お客様相談室（〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134 京都府産業支援センター内）